

わかやま母親通信

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます



第 136 号 2026 年 2 月 11 日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通 3 の 20 和歌山県教育会館内
FAX:073-446-2667 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp HP 和歌山県母親大会

2026 年 2 月 11 日(土)

第 70 回和歌山県母親大会実行委員会を立ち上げました

本日、「第 70 回和歌山県母親大会 in 和歌山市」第一回実行委員会を開催しました。以下は、決定事項です。

- * 開催地・会場；和歌山市・プラザホープ(和歌山市北出島 1-5-47)
- * 開催日；2026 年 6 月 14 日(日) 午前 分科会 午後 全体会
- * 全体会講演(第 70 回は、公演になります)

- ・講師(出演者) 松元 ヒロ 氏(お笑い芸人)
- ・演題 テレビで会えないお笑い芸人 松元 ヒロの
“政治・世相斬り”ライブ

～笑って、怒りかっ、共感して、元気になろう～(仮題)

- * 設定分科会・全体会の内容(案)・・・本日提案しました。提示案を郡市母連・団体で
検討・意見集約の上、第 2 回実行委員会で決定します。

尚、代表委員には、昨年に引き続き和教組副執行委員長の M. I. さん、新たに新日本婦人の会新会長の K. T. さんに就任していただきました。よろしくお願ひします。

◎「私と母親大会(運動)」or「母親大会で出会った人」という題で、400 字程度の原稿を募集します。ぜひ、お送りください。今回は、和歌山県教組 C.H.さんの原稿を掲載します。

私と母親大会(運動)⑤

2012 年 12 月に発足した第二次安倍政権は、「戦争する国づくり」へ矢継ぎ早に悪法を強行採決させ、2014 年 7 月には「集団的自衛権の行使容認」を閣議決定した。日本国憲法の「平和主義」を躊躇せず踏みこむ危険極まりない政権に対して、現役学生たち、子育て最中のママたちからも反対の声が起り、「戦争法」反対は、文化人、個人や団体、労働組合、政党を巻き込み、全国各地から沸き起こって大きなうねりとなった。

安倍政権は、翌年「集団的自衛権の行使容認」を含む安保関連法案を国会に提出した。それに反対しようと呼びかけた「安保関連法に反対するママの会」は瞬く間に各地で結成されていった。

私は、長女を出産して育休中でした。LINE 友達から「安保関連法に反対するママの会@わかやま」への参加の誘いを受けて、JR 和歌山駅前などでの反対宣伝や署名活動に子どもをバギーに乗せて参加しました。子ども連れのママたちに、道行く人は好意的な態度で署名をしてくれました。

安倍政権は、こうした反対の声に耳を貸さず、異常に長期の国会会期を取って 9 月 19 日の深夜に、与党の数の力で採決を強行させてしまいました。残念！怒り！の気持ちや無力感！も・・・。

でも、この「@わかやま」の活動は、次の年の日本母親大会(in 石川・福井)全体会「全国の運動交流」の場で発言するよう求められ、なぜか、私がお場に立たせていただくことになって、満場の参加者の前でどきどきしながら発言したことを覚えています。 和歌山県教組 C. H.



2025 年秋、各地で、多彩に、都市母親大会が開催されました

田辺・西牟婁大会は7月に開催され、すでに、わかやま母親通信で紹介済みです。

有田都市母親大会(9/29)…第70回日本母親大会 in 東京の全体会に重ねて開催しました。オンライン視聴の後、都市各地の要求及び活動などの交流を行いました。

有田川町の方からは、夏に原爆写真展の開催に取り組んだことや暴走する安倍第二次政権の時から始めずっと続けてきている毎月「3の日」のスタンディングについての報告がありました。



(注. 「3の日行動」とは、呼びかけ人で作家の澤地久枝さんが考案、俳人金子兜太さん揮毫の「アベ政治を許さない」ポスターを掲げ、「悪政に沈黙しない」と意思表示する行動を続けようと全国に呼びかけたのが始まりです。今も全国各地で毎月3日に、ポスターやプラカードを掲げてスタンディングが続いています)

湯浅町の方からは、「町内のある地域に産廃施設建設問題が持ち上がっていましたが、地域みんなで学習し声を上げた結果、業者が撤退を決めた」との発言がありました。また、満州からの引き上げを経験した方からその体験のお話

があり、貴重な戦争体験を学ぶことができました。

これからも、このように各地域の要求や活動を交流するのがいいなと思いました。(I. G.)

那賀母親大会(11/8) 紀の川市桃山会館で開催し、61名(内子ども2)が集まりました。ご夫婦での参加を呼びかけた団体もあり、いつもより男性が多かったです。

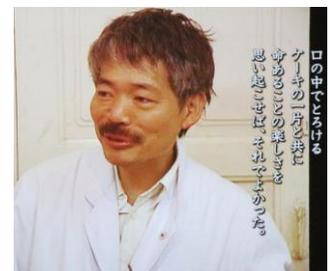
オープニングは「第69回日本母親大会 in 和歌山」の「和歌山のたたかい」を視聴。今回のメインは、「良いものは何回見ても良い」との声で6月の県母親大会で上映された中村哲医師の『荒野に希望の灯をともし』を視聴しました。一人の日本人医師が、最も弱い人々にどんどん寄り添っていく姿は、尊敬します。そして、人々の命を救い守るために用水路建設を進めていく様子は圧巻でした。志半ばで命を奪われてしまいましたが、中村さんの心が現地の人々にしっかりと根付いているのがよかったです。力と力で平和は守れません。「軍事費を増やそうとしている高市内閣にみせたいでなあ」と実行委員会の中で盛り上がりました。

〔参加者の感想〕

*中村医師は強い人だ。ペシャワール会や医師として遠いアフガンで苦労されているということは知っていたが、今日映画を見て感動した。

*これまで見る機会がありませんでしたが、見ることで良かった。今の日本・アメリカの現実を考えると、私たちがどう動いたらいいのか、何を視点において行動していくのかを考えさせられる映画でした。命・平和・愛の大切さがいっぱい込められていました。

*こんな偉大な方がいらっしまったことを恥ずかしながら知りませんでした。まずは知ることですね。そして、平和とは、自然の恩恵をわずかながらいただいて、人間同士が助け合いながら生きること、地に足を付けて自分が人のためにできることを行動するその行為であると学びました。



(G. T.)

日高郡市母親大会(11/15)・・・「風力発電を考える」

「日高川風力発電を考える会」の高田さんを講師に迎えて、「風力発電からの低周波の影響、土砂災害や自然環境の破壊について」お話していただきました。理想的な電力やエネルギーについても聞き、どうしていくのがいいか考えさせられました。

(K. K.)



和歌山市母親大会(11/15) 講師：菅野恵子さん(元県立盲学校教諭 全日本視覚障がい者団体 県女性部長) 「日本国憲法に守られていたからこそ続けられた見えない母の子育て奮戦記」



(感想より) *「会長さんのご挨拶もすごく良かった」の声がありました。

*健常の者は何も感じないで当たり前のように生活しているが、障がいのある方の変さの一端が分かりました。並大抵でなかったでしょうが、前向きに活動されていることに頭が下がります。

*全く見えない生活は想像以上に困難なことが多かったと思います。(飛行機に)搭乗を拒否されたことに対して、マスコミに訴えられたのは本当に素晴らしいことです。黙っては何も解決しないのですから。常に前向きに行動しておられるお姿には本当に敬意を表したいと思います。

*盲学校に6歳で入学し、寄宿舎での集団生活の辛さ、心にしみました。成長とともに法整備がされていき、「選択できない時代」から「選択できる時代」への変化をご自身の進学、東京での一人暮らし、和歌山への赴任、結婚、子育て、飛行機事件など、一つ一つが新鮮でした。

平和でこそ！基本的人権が尊重されてこそ！戦争のない世の中でこそ！ですね。

*日本国憲法に守られていたからこそ続けられた見えない母の子育て。菅野さんのゆるぎない生き方に感動しました。今日は貴重なお話が聞けて良かったです。これからも、差別のない世の中にしていかなければと思いました。

*明るく前向き、人生それでなくっちゃと元気づけられました。一人暮らしや子育て、いろいろあったと思いますが、思い返せばすべてを楽しんでこられたのだと思いました。昨年の全国大会のお手伝いいただいたフートー、私の名が点字で入っていましたね。今も部屋に飾っています。

(Y. K.)

伊都橋本母親大会(11/29) 歌ってしゃべって元気の出る歌声の集い

「生命と平和 みんなで歌いましょう！」をテーマとし、橋本市教育文化会館に31名の参加者が集まってくれました。

オープニングに、前田享子さんの指導で体ほぐしの体操、続いて、年金者組合のシニアだって踊り隊のダンスと、参加者みんなを巻き込んでにぎやかに始めました。すっかり心も体も温まってから、本番の「わたしたちのたからもの 日本国憲法」の歌唱に入りました。

歌唱指導をしてくださったのは、昨年の日本母親大会で合唱の指揮を務めてくれた岡本美恵子さんで、歌唱指導に入る前に、この歌に込められた思いを熱く語ってくれました。難しい曲でしたが、日本国憲法にこめられた生命と平和への思いを込めてみんなで声を出して歌うことができました。

新婦人の虹の会の皆さんの、「折り鶴」「ヒロシマの有る国で」の歌の後、“語り合おう 生命と平和に”に入りました。非核三原則を見直そう、原発を再稼働しよう、軍備増強をさらにすすめていこ



うなど、今の状況は大変厳しいが、被団協の方たちは命をかけて核廃絶を訴えている。現在の世界は、いくさの火種がいっぱいで怖いと感じる。孫たちが生きている時代が平和であるように、あきらめずに声をあげていきたいなど、熱く語っていただきました。

最後に、みんなが知っている「見上げてごらん夜の星を」「手のひらを太陽に」「アンパンマンのマーチ」を元

気に歌い、「いま わたしたちは」で会を締めくくりました。

ピアノとギターの伴奏で、平和につながる歌をたくさん歌うことができうれしかったと、みなさん、元気をたくわえて帰ってくれました。 (S. S.)

田辺・西牟婁母親大会(7/6) いのちとくらし、平和を守るために……………再掲載

7月6日(日)13時から上富田文化会館で、第68回田辺会を開催しました。今回は地域で問題になっている医療機関存続の危機と白浜空港の「特定利用空港」指定問題を中心に、佐藤英昭さん(医労連)と高田由一さん(前県議)に、現状とその背景にあるものを詳しく話をさせていただきました。61名参加で、地元白浜町や周辺の地域の方々、男性の参加も多かったです。

「白浜空港が特定利用空港に指定されたけれど、今後どのような反対運動の取り組みをしていくのか。白浜町長の態度はどうなのか。」「はまゆう病院はどうなるの。ヘルパー不足で事業所が閉所している問題は。」などなど、参加者からの不安な声に的確に答えていただきました。県内の公立病院11のうち8病院が赤字決算だということや、イスラエル製の無人航空機が試験飛行しており白浜空港内に格納庫があるという事実に、参加者からは驚きの声が上がりました。



一方、はまゆう病院では初めて労働組合ができたといううれしい知らせや病院従事者の方の声も聞くことができました。地域を訪問し、知らせる活動や署名行動を続けている参加者の声もありました。地域で起こっている問題は全国的なもの、防衛の名のもとに軍事費を増やし医療保障の予算を削り、国民の命をないがしろにする間違っただ国の政策が背景にあることがよく理解できました。私たちは勇気をもって声をあげ続け、行動していくことの大切さを再認識できた会でした。

……………(C. K.)

第71回日本母親大会 in 宮城(仙台市) 第1回実行委員会<2026. 1.22(木)>開催

新たに就任してくださった若い新事務局長、事務局次長(東京母連)から提案されました。

- ・ **今年の大会名** ; 第71回日本母親大会 in 宮城(仙台)
- ・ **日時** ; 2026年9月12日(土) 12:30~15:30 全体会 オンライン併用
9月13日(日) 9:30~12:30 分科会
*被災地の復興をテーマに、見学分科会を充実するようです。
- ・ **会場** ; 全体会 仙台サンプラザホール 2,000名+オンライン 8,000名
分科会 仙台トークネットホール+見学 2000名+@
- ・ **参加券(会員券)代** ; 2日券(しおり代含む)3,300円 1日券(しおり代含む)1,800円